

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校1年 ICS	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語科 国語総合現代文	Class hours 時間数	3時間 / 週
---	-------------	--	----------------	---------------------------	---------

1学期 中間試験 Term 1 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	「文化」の交わるところに起きるもの	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	川上弘美「境目」 / 見田宗介「感性の考古学」
-------------------------------------	-------------------	--	-------------------------

Unit Description 単元の概要	<p>「文化」が交流することによって引き起こされる事象について知り、それを乗り越えるために一主体としてどうあるべきかを自分事として捉える力を身につける。</p> <p>課題文の読解と補助教材を利用しながら、「技能の取得」と「批判的思考の発達」を目標とする。</p>
----------------------------------	--

Class Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">楽 A3 整理した内容（情報）を、相手の立場や考えを尊重しながら、話し方に注意して、わかりやすく説明できる。</td> <td style="width: 33%;">B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。</td> <td style="width: 33%;">C3 本質をつかむ洞察力を身につけ、自己変革し続け、他者との共生のなかで新たに価値を創発するための行動をとることができる。</td> </tr> <tr> <td>好 A2 段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。</td> <td>B2 一つ一つの言葉に注目しながら心情を理解し、作品の主題を解釈する。</td> <td>C2 他者との対話を通して、現代と未来に向けた意思を表現することができる。</td> </tr> <tr> <td>知 A1 言語活動に必要な漢字・語彙を身につける。</td> <td>B1 事物の歴史的背景を知り、視点、語りの構造、修辞法などの道具立てを理解する。</td> <td>C1 問題提起のあり方を理解する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Recognition</td> <td style="text-align: center;">Logical Thinking</td> <td style="text-align: center;">Creative Thinking</td> </tr> </table>	楽 A3 整理した内容（情報）を、相手の立場や考えを尊重しながら、話し方に注意して、わかりやすく説明できる。	B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。	C3 本質をつかむ洞察力を身につけ、自己変革し続け、他者との共生のなかで新たに価値を創発するための行動をとることができる。	好 A2 段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。	B2 一つ一つの言葉に注目しながら心情を理解し、作品の主題を解釈する。	C2 他者との対話を通して、現代と未来に向けた意思を表現することができる。	知 A1 言語活動に必要な漢字・語彙を身につける。	B1 事物の歴史的背景を知り、視点、語りの構造、修辞法などの道具立てを理解する。	C1 問題提起のあり方を理解する。	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">A3 ・課題文の読解 ・課題文の要約</td> <td style="width: 33%;">B3 ・ワンマンプレスト ・グループダイアログ</td> <td style="width: 33%;">C3 ・グループプレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約</td> <td>B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ</td> <td>C2 ・グループプレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>A1 ・課題文の読解</td> <td>B1 ・課題文の読解</td> <td>C1 ・グループダイアログ ・グループ間の意見交流</td> </tr> </table>	A3 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B3 ・ワンマンプレスト ・グループダイアログ	C3 ・グループプレゼンテーション	A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ	C2 ・グループプレゼンテーション	A1 ・課題文の読解	B1 ・課題文の読解	C1 ・グループダイアログ ・グループ間の意見交流
楽 A3 整理した内容（情報）を、相手の立場や考えを尊重しながら、話し方に注意して、わかりやすく説明できる。	B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。	C3 本質をつかむ洞察力を身につけ、自己変革し続け、他者との共生のなかで新たに価値を創発するための行動をとることができる。																				
好 A2 段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。	B2 一つ一つの言葉に注目しながら心情を理解し、作品の主題を解釈する。	C2 他者との対話を通して、現代と未来に向けた意思を表現することができる。																				
知 A1 言語活動に必要な漢字・語彙を身につける。	B1 事物の歴史的背景を知り、視点、語りの構造、修辞法などの道具立てを理解する。	C1 問題提起のあり方を理解する。																				
Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking																				
A3 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B3 ・ワンマンプレスト ・グループダイアログ	C3 ・グループプレゼンテーション																				
A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ	C2 ・グループプレゼンテーション																				
A1 ・課題文の読解	B1 ・課題文の読解	C1 ・グループダイアログ ・グループ間の意見交流																				

Others 備考	<p><評価方法> 定期考査の素点（60%） / グループダイアログ・プレゼンテーション（20%）、小テスト（10%）、提出物および授業態度（10%）</p> <p><ICT> 視聴覚教材の利用 / 授業内での解説にプロジェクターを使用</p>
------------------	--

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校1年 ICS	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語科 国語総合現代文	Class hours 時間数	3時間 / 週
---	-------------	--	----------------	---------------------------	---------

1学期 期末試験 Term 1 Final

Name of Unit, Project 単元名	「言葉」を用い物事を語ること	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	芥川龍之介「羅生門」 / 今昔物語「羅生門の上層に登りて死人を見る盗人の語」
-------------------------------------	----------------	--	--

Unit Description 単元の概要	芥川龍之介「羅生門」を題材に、原案である今昔物語「羅生門の上層に登りて死人を見る盗人の語」との対比の中で、芥川龍之介の目を通し如何に翻案されたかを分析する。そこから芥川の意図を探り、さらに言葉を使い「語る」という行為に潜む意志（潜在的な、あるいは顕在化した）を汲み取る力を身につける。
----------------------------------	--

Class Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">楽</td> <td style="width: 20%;">A3</td> <td style="width: 20%;">B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。</td> <td style="width: 20%;">C3 自己の内面に既存する論理を変革し、内的世界（世界観・人間観など）を深めることができる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">好</td> <td>A2 段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。</td> <td>B2 一つ一つの言葉に注目しながら心情を理解し、作品の主題を解釈する。</td> <td>C2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">知</td> <td>A1 言語活動に必要な漢字・語彙を身につける。</td> <td>B1 事物の歴史的背景を知り、視点、語りの構造、修辞法などの道具立てを理解する。</td> <td>C1</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">Recognition</td> <td style="text-align: center;">Logical Thinking</td> <td style="text-align: center;">Creative Thinking</td> </tr> </table>	楽	A3	B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。	C3 自己の内面に既存する論理を変革し、内的世界（世界観・人間観など）を深めることができる。	好	A2 段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。	B2 一つ一つの言葉に注目しながら心情を理解し、作品の主題を解釈する。	C2	知	A1 言語活動に必要な漢字・語彙を身につける。	B1 事物の歴史的背景を知り、視点、語りの構造、修辞法などの道具立てを理解する。	C1		Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">A3</td> <td style="width: 20%;">B3 ・ワンマンプレスト ・グループダイアログ</td> <td style="width: 20%;">C3 ・グループプレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約</td> <td>B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ</td> <td>C2</td> </tr> <tr> <td>A1 ・課題文の読解</td> <td>B1 ・課題文の読解 ・文学史における芥川龍之介の立ち位置の分析 ・芥川の他作品との比較</td> <td>C1</td> </tr> </table>	A3	B3 ・ワンマンプレスト ・グループダイアログ	C3 ・グループプレゼンテーション	A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ	C2	A1 ・課題文の読解	B1 ・課題文の読解 ・文学史における芥川龍之介の立ち位置の分析 ・芥川の他作品との比較	C1
楽	A3	B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。	C3 自己の内面に既存する論理を変革し、内的世界（世界観・人間観など）を深めることができる。																							
好	A2 段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。	B2 一つ一つの言葉に注目しながら心情を理解し、作品の主題を解釈する。	C2																							
知	A1 言語活動に必要な漢字・語彙を身につける。	B1 事物の歴史的背景を知り、視点、語りの構造、修辞法などの道具立てを理解する。	C1																							
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking																							
A3	B3 ・ワンマンプレスト ・グループダイアログ	C3 ・グループプレゼンテーション																								
A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ	C2																								
A1 ・課題文の読解	B1 ・課題文の読解 ・文学史における芥川龍之介の立ち位置の分析 ・芥川の他作品との比較	C1																								

Others 備考	<p><評価方法> 定期考査の素点 (60%) / グループダイアログ・プレゼンテーション (20%)、小テスト (10%)、提出物および授業態度 (10%)</p> <p><ICT> 視聴覚教材の利用 / 授業内での解説にプロジェクターを使用</p>
------------------	--

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校1年 ICS	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語科 国語総合現代文	Class hours 時間数	3時間 / 週
----------------------------------	-------------	---------------------------------	----------------	--------------------	---------

2学期 中間試験 Term 2 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	「主体」「自己」への疑念	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	安部公房「棒」 / 小坂井利昭「主体という物語」
------------------------------	--------------	-------------------------------------	--------------------------

Unit Description 単元の概要	「主体的に行動する」「自己決定する」という言葉が横行し、「自分のことは自分で決める」という考え方が一般的である中で、「自己」は制御しうるものか?という点に疑念を抱き、無意識下での制御不能な「自己」との出会いをなし、視座の転換を達成する。
---------------------------	--

Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
楽	A3	B3 文章を構造的に分解し、自分なりに再構築した定義に基づき、明確な論理を持って問題に解答することが出来る	C3	A3 ・	B3 ・ワンマンプレスト ・グループダイアログ	C3
好	A2 本文中に含まれる漢字・語句を正しく理解し、文意を正確に読み取る事ができる	B2 文章を構造的に読み解き(対比・類推・相同など)、根拠を明らかにしながら問題に解答することが出来る	C2	A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ	C2
知	A1 問題として出題される漢字・語句を正しく理解し、正解することが出来る	B1 文章のテーマを大まかに理解し、本文を手がかりに問題に解答することが出来る	C1	A1 ・課題文の読解	B1 ・課題文の読解	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> 定期考査の素点 (60%) / グループダイアログ・プレゼンテーション (20%)、小テスト (10%)、提出物および授業態度 (10%) <ICT> 視聴覚教材の利用 / 授業内での解説にプロジェクターを使用
--------------	---

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校1年 ICS	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語科 国語総合現代文	Class hours 時間数	3時間 / 週
---	-------------	--	----------------	---------------------------	---------

2 学期 期末試験 Term 2 Final

Name of Unit, Project 単元名	自己の周辺環境の疑念	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	黒崎政男「デジタル社会」 / 若林幹夫「魔術化する科学技術」
-------------------------------------	------------	--	--------------------------------

Unit Description 単元の概要	複雑さを増し、加速度的に変化のスピードを増す現代社会において、強い支配力を持ちながらも得体の知れない概念である「科学」「IT」といった概念について、あらためて自己との関係性を見直し、「技術の奴隷」としてではなく、技術とよりよい関係性を築く一主体としての自己の在り方を模索する機会とする。
----------------------------------	---

Class Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">楽</td> <td style="width: 20%;">A3 様々な分野の文章やメディアを通して、言語感覚を豊かにする。</td> <td style="width: 20%;">B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。</td> <td style="width: 15%;">C3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">好</td> <td>A2 段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。</td> <td>B2 複数の資料から共通点・相違点を見出し、内容理解や解釈の助けにする。</td> <td>C2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">知</td> <td>A1 言語活動に必要な漢字・語彙を身につける。</td> <td>B1 事物の歴史的背景を知り、視点、語りの構造、修辭法などの道具立てを理解する。</td> <td>C1 他者の考えを批判的に検討することの意味を理解する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">Recognition</td> <td style="text-align: center;">Logical Thinking</td> <td style="text-align: center;">Creative Thinking</td> </tr> </table>	楽	A3 様々な分野の文章やメディアを通して、言語感覚を豊かにする。	B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。	C3	好	A2 段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。	B2 複数の資料から共通点・相違点を見出し、内容理解や解釈の助けにする。	C2	知	A1 言語活動に必要な漢字・語彙を身につける。	B1 事物の歴史的背景を知り、視点、語りの構造、修辭法などの道具立てを理解する。	C1 他者の考えを批判的に検討することの意味を理解する。		Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">A3 ・課題文の相互比較および検討</td> <td style="width: 20%;">B3 ・ワンマンプレスト ・グループダイアログ</td> <td style="width: 15%;">C3</td> </tr> <tr> <td>A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約</td> <td>B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ</td> <td>C2</td> </tr> <tr> <td>A1 ・課題文の読解</td> <td>B1 ・課題文の読解</td> <td>C1 ・ジグソー法を用いた意見の比較検討</td> </tr> </table>	A3 ・課題文の相互比較および検討	B3 ・ワンマンプレスト ・グループダイアログ	C3	A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ	C2	A1 ・課題文の読解	B1 ・課題文の読解	C1 ・ジグソー法を用いた意見の比較検討
楽	A3 様々な分野の文章やメディアを通して、言語感覚を豊かにする。	B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。	C3																							
好	A2 段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。	B2 複数の資料から共通点・相違点を見出し、内容理解や解釈の助けにする。	C2																							
知	A1 言語活動に必要な漢字・語彙を身につける。	B1 事物の歴史的背景を知り、視点、語りの構造、修辭法などの道具立てを理解する。	C1 他者の考えを批判的に検討することの意味を理解する。																							
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking																							
A3 ・課題文の相互比較および検討	B3 ・ワンマンプレスト ・グループダイアログ	C3																								
A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ	C2																								
A1 ・課題文の読解	B1 ・課題文の読解	C1 ・ジグソー法を用いた意見の比較検討																								

Others 備考	<p><評価方法> 定期考査の素点 (60%) / グループダイアログ・プレゼンテーション (20%)、小テスト (10%)、提出物および授業態度 (10%)</p> <p><ICT> 視聴覚教材の利用 / 授業内での解説にプロジェクターを使用</p>
------------------	--

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校1年 ICS	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語科 国語総合現代文	Class hours 時間数	3時間 / 週
---	-------------	--	----------------	---------------------------	---------

3学期 学年末試験 Term 3 Final

Name of Unit, Project 単元名	現代社会の現状分析と超克	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	野家啓一「物語の哲学」 / 萱野稔人「哲学はなぜ役に立つのか？」
-------------------------------------	--------------	--	----------------------------------

Unit Description 単元の概要	近代以前 / 近代 / 現代の漸進的な変化の在り様を捉え、現代社会特有の事象・特異性を定義し、その中に潜む問題を多様な観点から捉える。自身の身の回りの事象をあらためて問題視し、如何にしてその問題を超克していくか？という点について考え、一主体として現代社会、そして来るべきポスト現代社会の生き延び方に関する想像力を育む。
----------------------------------	---

Class Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">楽 A3 様々な分野の文章やメディアを通して、言語感覚を豊かにする。</td> <td style="width: 33%;">B3 議論のなかで、理由・根拠の妥当性を指摘することができる。</td> <td style="width: 33%;">C3 本質をつかむ洞察力を身につけ、自己変革し続け、他者との共生のなかで新たに価値を創発するための行動をとることができる。</td> </tr> <tr> <td>好 A2 積極的、能動的に注意して「聴く」、そして尋ねて「訊く」ことができる。</td> <td>B2 複数の資料から共通点・相違点を見出し、内容理解や解釈の助けにする。</td> <td>C2</td> </tr> <tr> <td>知 A1 基本的な思想の変遷を理解する。</td> <td>B1 事物の歴史的背景を知り、視点、語りの構造、修辭法などの道具立てを理解する。</td> <td>C1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Recognition</td> <td style="text-align: center;">Logical Thinking</td> <td style="text-align: center;">Creative Thinking</td> </tr> </table>	楽 A3 様々な分野の文章やメディアを通して、言語感覚を豊かにする。	B3 議論のなかで、理由・根拠の妥当性を指摘することができる。	C3 本質をつかむ洞察力を身につけ、自己変革し続け、他者との共生のなかで新たに価値を創発するための行動をとることができる。	好 A2 積極的、能動的に注意して「聴く」、そして尋ねて「訊く」ことができる。	B2 複数の資料から共通点・相違点を見出し、内容理解や解釈の助けにする。	C2	知 A1 基本的な思想の変遷を理解する。	B1 事物の歴史的背景を知り、視点、語りの構造、修辭法などの道具立てを理解する。	C1	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">A3 ・課題文の相互比較および検討</td> <td style="width: 33%;">B3 ・ワンマンプレスト ・グループダイアログ</td> <td style="width: 33%;">C3 ・PBL</td> </tr> <tr> <td>A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約</td> <td>B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ</td> <td>C2</td> </tr> <tr> <td>A1 ・課題文の読解</td> <td>B1 ・課題文の読解</td> <td>C1</td> </tr> </table>	A3 ・課題文の相互比較および検討	B3 ・ワンマンプレスト ・グループダイアログ	C3 ・PBL	A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ	C2	A1 ・課題文の読解	B1 ・課題文の読解	C1
楽 A3 様々な分野の文章やメディアを通して、言語感覚を豊かにする。	B3 議論のなかで、理由・根拠の妥当性を指摘することができる。	C3 本質をつかむ洞察力を身につけ、自己変革し続け、他者との共生のなかで新たに価値を創発するための行動をとることができる。																				
好 A2 積極的、能動的に注意して「聴く」、そして尋ねて「訊く」ことができる。	B2 複数の資料から共通点・相違点を見出し、内容理解や解釈の助けにする。	C2																				
知 A1 基本的な思想の変遷を理解する。	B1 事物の歴史的背景を知り、視点、語りの構造、修辭法などの道具立てを理解する。	C1																				
Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking																				
A3 ・課題文の相互比較および検討	B3 ・ワンマンプレスト ・グループダイアログ	C3 ・PBL																				
A2 ・課題文の読解 ・課題文の要約	B2 ・課題文の相互比較および検討 ・視聴覚教材の使用 ・グループダイアログ	C2																				
A1 ・課題文の読解	B1 ・課題文の読解	C1																				

Others 備考	<p><評価方法> 定期考査の素点 (60%) / グループダイアログ・プレゼンテーション (20%)、小テスト (10%)、提出物および授業態度 (10%)</p> <p><ICT> 視聴覚教材の利用 / 授業内での解説にプロジェクターを使用</p>
------------------	--